2017 年 3 月 13 日
旅館甲子園実行委員会
大会会長：桑田雅之
実行委員長：塚島英太

第三回旅館甲子園　報告書

平成 29 年 2 月 22 日、東京ビックサイトにて全旅連青年部主催の第三回旅館甲子園を開催し「長野県渋・湯田中　春蘭の宿 さかえや」がグランプリに輝きました。旅館甲子園は「人材育成」「業界の地位向上」新たに「インバウンドへの取り組み」「労働生産性の向上」をテーマに、全国の「全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会」に所属している、加盟ホテル（全国 10 ブロック 1350 旅館）の中より出場希望施設を募り、各都道府県部長の審査に通過した 87 の旅館が「推薦状」を得ました。さらに、87 旅館から実行委員会の一次審査にて 18 軒の旅館に絞り、その後二次審査として「飲食業」「旅館業」「行政」『コンサルタント業』の 8 名からなる審査員による厳密な「書類審査」を行い決勝進出 5 施設のファイナリストを決定しました。二次書類審査の結果を 20 点、大会当日の審査員票 50 点、大会当日に来場いただいた方による会場票を 30 点、その合計を 100 点とし、旅館甲子園に置ける日本一・オンリーワンを決定致しました。

全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会青年部

主旨目的

我々業界が抱える「人材育成」や「後継者不足」「従業員不足」などの問題は、業界が全体としてモチベーションを高く保ち、魅力的であれば解決できると考えます。全国よりやる気に満ち溢れた素晴らしい仲間を集い、旅館力・人間向上力のための研鑽の場を設けます。業界で働くすべての仲間（スタッフ・オーナー・業界に携わる全ての人達）に夢と感動を与えます。そんな素敵な場を、業界内外の多くの人達に見て・感じってもらう事により問題の解決のみならず、業界全体の未来を担う原動力となります。我々が業界の未来をもっともっと明るくします！

第三回　旅館甲子園「大会理念」

～宿泊産業の地位向上から日本を元気に～

我々は
日本全国より様々な魅力や特徴が自慢の宿泊施設を集い
「宿泊産業で働く魅力」「経営理念」「おもてなしの想い」
それらを具現化する取り組みや手法を
全国の仲間に発表し、共に学び、高め合う研鑽の場を設ける。

「経営者とスタッフの夢が共有され、それがお客様に伝わっている」
「労働生産性を高め、働く人達が主役になって働ける環境づくりに取り組んでいる」
「世界基準を見据えた、おもてなしの心の発信に取り組んでいる」
など、様々な宿泊産業の発展に寄与する事柄を
旅館・ホテルから日本のみならず、世界に発信する

「自分の仕事に誇りを持ち、情熱的に働く姿」
「仲間と夢を共感し、それに向かって努力する姿勢」
その姿は、それを観る全ての人に感動を与え他の何よりも輝きを放ちます
「宿泊産業で働くスタッフ」が活き活きと
夢や業界の魅力を発表できる舞台を作り上げる

この大会を通じ
業界全体のモチベーションアップやスキルアップは当然の事
「共に頑張る仲間達」や「宿泊産業に携わる世界中の人々」に
宿泊産業の「魅力」や「想い」を再発見して頂き
宿泊産業の地位向上を図ると共に
世界に誇れるおもてなし産業の構築を目指し続ける

第三回旅館甲子園は
これに携わる全ての仲間、これを見るすべての人々
そして日本、世界を！
旅館ホテルから元気にします!!

実行組織及び活動スケジュール

実行組織：第三回旅館甲子園実行委員会（宿の未来事業創造委員会）

スケジュール

平成 27 年
10 月　　実行委員会設立
11 月　　開催場所日時決定
12 月　　運営業者選定

平成 28 年
1 月　　告知・サポーター、スポンサー募集開始・参加者募集開始
2 月　　審査委員募集
【部門別審査会】
7 月　　審査員決定
7 月中　　出場締切り
8 月上旬　　旅館甲子園実行委員会による一次審査
9 月 1 日～30 日　選定された 8 名の審査員による二次審査
　　旅館甲子園コメンテーターの選定
10 月 13 日　全国大会分科会にてエントリー87 施設、ファイナリスト 18 施設、
　　ファイナリスト 5 施設の発表
11 月 9 日　　第三回旅館甲子園ファイナリスト説明会（全国旅館会館）
11 月 11 日　ファイナリスト VTR 制作開始

平成 29 年
1 月 18 日　最終全体会議
2 月 22 日　第三回旅館甲子園開催

旅館甲子園の開催につての告知 PR の実施

平成 27 年　　各県総会にて旅館甲子園開催の告知
4 月 19 日（火）第 48 回定時総会（東京・全国町村会館）
5 月 18 日（水）第 16 回常任理事会（群馬・伊香保温泉よろこびの宿 しん喜）
6 月 8 日（水）全旅連親会全国大会（東京・京王プラザホテル）
7 月 14 日（木）北陸ブロック大会（石川・山代温泉 瑠璃光）
9 月 15 日（木）平成 28 年度臨時総会（東京・TKP ガーデンシティ永田町）
10 月 13 日（木）全旅連青年部第 23 回全国大会 in ぐんま （群馬・前橋）
11 月 14 日（水）第 21 回常任理事会熊本・阿蘇内牧温泉 蘇山郷）
1 月 18 日（水）首都圏ブロック大会（山梨・銘石の宿 かげつ）
1 月 31 日（火）中国ブロック大会（島根・なにわ一水）
2 月 1 日（水）四国ブロック大会（徳島・モアナコースト）
2 月 7 日（火）東海ブロック大会（三重・火の谷温泉 美杉リゾート ホテル）

第三回旅館甲子園　プレゼン書類審査について

【審査方法】
《１次審査》
旅館甲子園実行委員会による書類審査にて、１次審査通過施設を 18 軒選考。エントリー施設より提出されたプレゼン書類をもとに審査いたしました。
《２次審査》
選抜された審査員の皆様による書類審査にて、決勝大会に進出する施設（ファイナリスト）５軒の選考をお願い致しました。２次審査結果は１０月１３日に行われる全旅連青年部全国大会にて発表いたしました。

【審査スケジュール】

７月２２日	エントリー受付終了
８月１６日	１次審査 《旅館甲子園実行委員会による書類審査》
８月下旬～９月下旬	２次審査 《審査員の皆様による書類審査》
１０月１３日	２次審査結果発表 《全旅連青年部全国大会にて決勝大会進出施設５軒の発表》 ※２次審査にて選出された上位 18 軒に施設のご出席をお願いします。
２月２２日	決勝大会 《東京ビッグサイトにて決勝大会進出施設によるプレゼンテーション》

【選考基準】
①業界の魅力を伝えられているか？
（売上の規模や既存の評価点などは、特に選考の基準にしないものとする）
②おもてなしへの想いが伝わったか？
（ハードよりソフト、施設より人、モノより心を大切にする）
③経営ビジョンが明確であり、かつスタッフと共有できているか？
（取り組んでいる事例や、今後取り組みたい事等）
④自館の頑張りだけでなく、その地域活性の一端を担っているか？
（地域との連携や活性化への取組み等、またそれが地域から必要とされているか？）
⑤労働生産性向上に向けた取り組みがされており、成果が出ているか？
（労働生産性向上への考え方、それに対する自社での取組みや事例発表）

【プレゼンテーションについて】
◉大会趣旨・選考基準に準じたプレゼンテーションであること
◉1 施設 15 分の持ち時間でプロモーションビデオの放映＆マイクパフォーマンスを行う
※少なくともマイクパフォーマンスの時間を持ち時間の中で 8 分間は設けること

第三回旅館甲子園エントリー 87 施設（応募順）

長野県 春蘭の宿 さかえや
神奈川県 塔ノ沢温泉 福住楼
神奈川県 箱根湯本温泉 ホテルおかだ
栃木県 鬼怒川パークホテルズ
京都府 文珠荘
京都府 嵐山温泉 嵐山辨慶
群馬県 ホテル松本楼
新潟県 四季の宿みのや
奈良県 柿本家
北海道 萬世閣
奈良県 春日ホテル
宮崎県 ホテル四季見
宮崎県 北郷 音色香の季 合歓のはな
鹿児島県 指宿コーラルビーチホテル
鹿児島県 指宿白水館
鹿児島県 手塚 ryokan
栃木県 上会津屋
岡山県 名泉鍵湯 奥津荘
岡山県 湯原温泉 八景
栃木県 ホテルサンシャイン鬼怒川
栃木県 きぬ川不動瀧
群馬県 お宿 玉樹
東京都 ホテル丸谷
富山県 創業寛政三年すいげつろうホテル
静岡県 壺中の天 宿〇文
千葉県 安房温泉 ビーチサイド温泉リゾートゆうみ
千葉県 お宿ひるた
愛知県 ホテル松風
新潟県 貝掛温泉
長野県 かしわや本店
新潟県 ホテルニュー桂
茨城県 筑波山 江戸屋
福岡県 プレジデントホテル博多
福岡県 泰泉閣
佐賀県 旅館 鶴荘
大分県 旅館 関屋
島根県 湯迫温泉旅館
大分県 湯布院温泉 御宿 由布両築
福島県 萩姫の湯 栄楽館
福井県 りぞうと旅館 宿かり
福井県 花の宿 福寿
熊本県 あそ兵衛
兵庫県 小宿 縁
兵庫県 有馬ロイヤルホテル
埼玉県 名栗温泉 大松閣
岡山県 季譜の里
富山県 山田家
三重県 ふよう荘

長崎県 ホテル長崎
山梨県 銘石の宿 かげつ
京都府 KYOTO GARFEN RYOKAN YACHIYO
和歌山県 漁火の宿 シーサイド観潮
滋賀県 旅館紅鮎
和歌山県 萬波 MANPA RESORT
京都府 嵐山温泉 渡月亭
岡山県 ゆのごう美春閣
大阪府 あまみ温泉南天苑
鳥取県 皆生シーサイドホテル
鹿児島県 数奇の宿 野鶴亭
宮崎県 山景の宿 流辿
滋賀県 料亭旅館 寿志屋
静岡県 明治館
長崎県 ホテル東洋館
佐賀県 渚館きむら
三重県 鳥羽ビューホテル
青森県 ホテル龍飛
秋田県 安楽温泉
山形県 古勢起屋別館
山形県 いきかえりの宿 瀧波
香川県 湯元八千代
秋田県 旅館多郎兵衛
青森県 ホテル十和田荘
宮城県 鳴子観光ホテル
島根県 さぎの湯荘
沖縄県 南西観光ホテル
沖縄県 ホテルタイラ
栃木県 割烹旅館 湯の花荘
長崎県 伊勢屋旅館
島根県 なにわ一水
岩手県 長栄館
新潟県 旅館おかやま
徳島県 リゾートホテル モアナコースト
山口県 玉仙閣
広島県 湯の宿 宮浜グランドホテル
埼玉県 ホテル美やま
三重県 清少納言
京都府 緑風荘

第三回旅館甲子園ファイナリスト 18（ブロック順）

北海道 萬世閣
福島県 萩姫の湯 栄楽館
群馬県 ホテル松本楼
群馬県 お宿 玉樹
栃木県 鬼怒川パークホテルズ
栃木県 きぬ川不動瀧
長野県 春蘭の宿 さかえや
長野県 かしわや本店
東京都 ホテル丸谷
福井県 りぞうと旅館 宿かり
富山県 山田家
愛知県 ホテル松風
大阪府 あまみ温泉南天苑
兵庫県 小宿 縁
京都府 嵐山温泉 嵐山辨慶
岡山県 名泉鍵湯 奥津荘
岡山県 湯原温泉 八景
宮崎県 ホテル四季見

第三回旅館甲子園ファイナリスト 5(プレゼン発表順）
群馬県 ホテル松本楼
岡山県 名泉鍵湯 奥津荘
大阪府 あまみ温泉南天苑
兵庫県 小宿 縁
長野県 春蘭の宿 さかえや

審査員一覧

第三回旅館甲子園 大会概要

○ 日　　時：平成 29 年 2 月 22 日（水） 受付 AM11:30 / 開始 PM1:00 / 終了 PM5:00

○ 場　　所：東京国際展示場（ホテレス会場内） 会議棟１階　レセプションホール

○ 来場者数：　約 1,000 名（青年部員、ホテル・旅館スタッフ、関係各位,一般絵来場者）

○ 旅館甲子園フェイスブックページ　http://www.facebook.com/ryokan.koushien

○ 講師・関連協力団体　一般法人 日本能率協会(国際ホテルレストランショー主催)

協賛各社･サポーター

第一興商（株）、(株)リクルートライフスタイル、日本テクノ（株）、楽天トラベル（株）、（株）i.JTB、近畿日本ツーリスト個人旅行(株)、(株)エクシング（株）宿泊予約経営研究所、（株）シーナッツ、ヤフー（株）ソニー生命保険（株）,ミサワホーム（株）、（株）ＪＴＢビジネスイノベーターズ、（株）パラダイムシフト、（株）エス・ワイ・エス、（株）マルハチプロ、（株）文榮出版社

動員対象及び人数

・青年部員：246 名・ファイナリスト応援団・演者：116 名・マスコミ：4 名
・来賓（親会、歴代、ＯＢ、スポンサー）：149 名・学観連：26 名
・一般：188 名・Youtube ライブ配信視聴回数 432 名　　合計：1161 名(来場者 729 名)

第三回旅館甲子園ファイナリストの感想及びコメント

全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会青年部

１群馬県　**伊香保温泉**　ホテル松本楼
第三回旅館甲子園にスタッフと共に 24 人で出場させて頂きました。結果は春蘭の宿さかえやさんが圧倒的なパフォーマンスで、二連覇でした。松本楼は優勝は出来ませんでしたが、旅館甲子園出場を通して、スタッフが毎日遅くまで残って作り上げたプレゼンテーションは、観戦頂いた皆様の心に届いたのではと思います。私達の挑戦は、これからです。旅館から日本を元気に出来るように、いい旅館を作っていきます。ありがとうございました。

2, 岡山県 名泉鍵湯 奥津荘
みんな一生懸命がんばって、最高のパフォーマンスをしました。
旅館甲子園から帰ってまいりました。結果は残念でしたが、練習より以上のチームワークパワーでプレゼンをする事が出来ました。そして多くの事を学ぶ事が出来ました。この大会の主催された全旅連青年部の皆様にもお礼申し上げます。これからもご来荘のお客様がお帰りになられた際、「奥津荘に行って来たよ！」って自慢のお土産話しにして頂ける様、スタッフ一同益々頑張ってまいりますので、変わらぬご愛顧をよろしくお願い申し上げます。

3, 大阪府　あまみ温泉南天苑
準備期間四カ月。残念ながらグランプリは獲れませんでしたが、徒手空拳で戦ったパフォーマンスとしては、選抜メンバー、皆それぞれよく頑張ってくれました。旅館で働く者の若いメッセージを伝えつつ、同時に、来ていただいたお客様「会場を沸かそう！」という並行した難しい目標でしたが、いずれも完全に達成できたと確信しております。応援いただいた皆さま、ありがとうございました。

4, 兵庫県 小宿 縁
第三回旅館甲子園にファイナリストとしてプレゼンテーションさせて頂きました。全国から 5 旅館だけが出場できるこの大会、優勝はできませんでしたが、心地のよい達成感を帰りの新幹線の中で味わっています。最初は嫌々ながらも付き合ってくれていたスタッフたち、今日のステージでは練習では見たことないほどの凄い素晴らしい発表！スタッフみんなが一回りも二回りも大きくなったように感じました。付き合ってくれてありがとう！今回、この旅館甲子園の機会を与えてくれた皆さん、そして今日の発表までお力添えを頂いた方々、皆様のお陰で素敵な時間を過ごせました。本当にありがとうございました！

5, 渋温泉・春蘭の宿さかえや
皆様の熱い応援のおかげで、見事グランプリを獲得することができました！！会場に来てくださった方はもちろん、来れずに YouTube で応援してくださった方、お仕事で来れずに遠くから応援してくださった方、本当にありがとうございます！これもひとえに、皆様のお力添えがあったからこそのグランプリです！本当に感謝してもしきれないほどです！このグランプリのなに恥じないよう、これからもスタッフ一同より一層精進して参りたいと存じます。さかえや一同より

第三回旅館甲子園アンケート結果

1、第三回旅館甲子園を知ったきっかけは何ですか？

全旅連青年部から	126
サポーター企業様から	48
ホームページ	4
Facebook ページ	4
広告・チラシ	6
知人の紹介	45
実行委員の紹介	21
その他	74

その他

さかえやのフリースクール生
社長から
会社説明会
会社で
職場
出場旅館より
会社の研修として
前回も来ましたので
参加者から
日本学生観光連盟
就業先（松本楼）
旅館組合
さかえやさんから
松本楼から
審査員の方の紹介
ネットのブログから

2、大会の感想について

a、大会の意義について
とても共感 **218**　共感 **86**　普通 **5**　少し共感 **4**　分からない **4**

b、時間について
とても長い **62**　長い **88**　丁度良い **166**　少し短い **5**　とても短い **2**

c、審査方法について
とても良い **72**　良い **169**　普通 **72**　良くない　**6**　とても良くない **2**

d、投票方法について
とても良い **110**　良い **143**　普通　**53**　良くない **18**　とても良くない **3**

3、旅館甲子園をご覧になって

a、旅館に対する興味・関心に変化はありましたか？
はい **283**　いいえ **36**

b、a の質問に「はい」と回答した方、具体的な内容をお聞かせください

・旅館に対するイメージが変わった。
・働いている人に会いに行きたくなった。
・ 「施設で働いている人こそ旅館の命」と思うようになりました。
・ 休日になると旅行に行くので必ず旅館に泊まります。
・日本の伝統文化を守って下さっているそれぞれの旅館、一人一人のスタッフに感謝します。
・ ドラマを見ているようで一人一人会って見たい人がたくさんいました。
・ ただ泊まるだけでなく地域やそこで働かれる方と思い出を作れたらいい。
・ 人材確保の難しい業界ですが、勇気をもらえました。
・接客に対する考えを変えなければと思った。
・全員経営に感動した。
・ またあなたに会いに行きます、と思ってもらえるように自分なりにやってみる。
・ 目的もなく働いていたのですが、話を聞いて自分の旅館にもいいところがあると感じてきた。
・旅館で働くみなさんが、どのような気持ちで働いているかが良く分かった。

・旅館は地域と共にあるべきであり、地域を輝かせる為にあるものだと感じた。

・観光業を支える産業として旅館業というのはその最先端を走る業界だと認識できました。
・私は旅館に泊まる金銭的な余裕はありませんが、人間的な魅力が問われる総合職人だと思いました。
・ 集客に対しての考え方が時代に合わせて変わってきていると思いました。
・ 日本の旅館の文化的価値の高さを再認識しました。
・ 日本の伝統産業として胸を張って働きます。
・ スタッフの思いを感じ、共感することができました。

4、旅館で働きたいと思いましたか？再就職先の候補になり得ますか？
はい 208　いいえ 111

5、旅館（観光業）は将来性のある職種だと感じましたか？
はい 254　いいえ 68

6、旅館業は伝統産業に区分されるべきだと思いますか？
はい 269　いいえ 51
7、働く上で重要視する項目順に 1～6 の順位をお書きください

	給与	やりがい	スキルアップ	対人関係	休日数	その他
1	33	118	23	26	29	2

2	58	77	88	68	31	4
3	82	62	76	104	47	6
4	69	35	79	72	72	26
5	64	16	55	29	88	108
6	11	9	16	12	54	173

最後に、旅館業を含む観光産業に対するご意見・ご感想をご記入ください。

・もっとこのようなイベントを行うべきだと思います。

・旅館業は日本になくてはならないと思いました。

・違法民泊などの小遣い稼ぎの様な商売に負けて旅館を潰さない様に頑張ります。

・小宿縁さんが大切にしている共存共栄は旅館の在り方を考える基礎の部分だと改めて思いました。

・日本にとって重要な仕事だと感じました。

・人にしかできない仕事、それが旅館業である。

・今日も素晴らしい気付きをいただきました。

・お客様は神様という考えが変わってほしい。

・旅館甲子園の様な取り組みを通じて業界が活性化していけば良いと思いました。

・ 国の光が観れる、地元の光が観れる、そんな産業にしたいです。

・ 是非、ファイナリストの皆様のお宿でのインターンシップ事業を開催してほしい。

・人を楽しませ、人を幸せにするエンターテイメント性に溢れる業界の一つなので日本における旅館業が衰退するのではなく存続し、ますます発展していくことを切に願ってやみません。

・本日拝見した５つの施設様が今後の旅館業の将来をになう先頭（リーダー）になって頂きたいと思いました！

・頑張って日本の観光を盛り上げていって下さい。

・人材雇用について、人の確保など業界として取り組むべき。

・生産性も大切ですが非日常の優雅な時間と文化交流の場として認知され業界の地位向上に努めて下さい。

・旅館甲子園の意義が年々重さを増しているように感じます。

・今回の場がＹｏｕＴｕｂｅにて発信される事で本当にこの業界に興味を持ってもらう方が増える事に期待したいと思います。

・「おもてなし」の心の教育を子供の頃から取り入れるべきだと思いました。

・旅館業に携わる方々の謙虚なチャレンジ精神に心を打たれました。

・民泊・ゲストハウスとの差別化を明確にしたい。

・ 日本にも海外にも知らない人がたくさんいると思うので、旅館の良さや価値のＰＲを強化して欲しいです。

開催目的の実現と成果・次回に引き継ぐ反省点

旅館力・人間向上力のための研鑽の場を設け、業界の未来を切り開く原動力を生み出す為、宿泊産業の地位向上の一助として業界の魅力、取り組みを向上的に発信できるコンテンツとして行った「第三回旅館甲子園」ですが、多くの皆様のご尽力を賜りまして、大成功に終わる事が出来ました。

動員目標の 1000 名には残念ながら到達しませんでしたが、当日は 729 名の方にご来場いただきました。また今回初めての試みとして、決勝大会を Youtube にてライブ配信を行いました。大会の趣旨としては会場に来て頂く事を主としていますので、ライブ告知は３日前からと致しましたが、当日 432 人の視聴を記録し、多くの方にファイナリストの素晴らしい取り組みや旅館運営の気付きや学びを共感して頂きました。「宿泊産業の地位向上から日本を元気に！」のテーマの通り、様々なジャンルの施設が、個々の素晴らしい発表を披露して下さり、それを見る全ての仲間が胸を打たれ、涙しました。

また、第三回は一般(学生)の来場者を募り、業界の魅力を広く発信する試みも、企業様や各機関等に配布したチケット分を含んだ 214 名の一般来場を記録しました。この数字は全体の約 30%にあたります。このことは、業界外の方々にもこの事業が大きく期待されている事の表れと思います。

協賛企業を集うにあたっては、全旅連協定商社様を中心に多くのご協賛を賜りました。結果的に青年部、地域毎によるサポーターの協力を減らす事ができましたが、動員に際して告知が十分でなくなるリスクを感じました。旅館甲子園も三回目となり認知の向上と、コンテンツとしての実績も増え、今回は保留するが、第四回には是非協賛したいとのありがたい声も多くみられました、来期には財務委員会と密に連携して新規協定商社加入も視野に入れた協賛企業募集に臨みたいと思います。

参画施設においては飛躍的に増え全 87 施設のエントリーを賜りました。反省点としては告知・募集の早期開始と大会の意義や目的を周知徹底する事が挙げられると思います。旅館甲子園の理念を業界内外に浸透させる事が業界の底上げにつながります。

開催会場は前回同様にホテルレストランショーが開催される「東京国際展示場」で継続開催し、ホテレスショーを運営する日本能率協会様と協業する形で大会運営費補助を頂き、運営費用の削減を行いました（会場費一部）また協業と言う事で広告チラシにも掲載され、一般の来場者を拡大する事にもつながりました。課題としては第一回、第二回とホテルレストランショーと併催による業界人を誘致してきた大会から一般向けの大会に開催目的とするならば次回開催の際は会場の協議も必要だと思います。

運営方法として今回は実行委員会制を取りましたが、実行委員会の開催日程等に問題はあるものの、非常にスムーズに企画運営出来たと考えます。反省点としては実行委員会の開催日程の早期調整と出欠の有無、代理出席の厳格化やブロック長からの実行委員選出があれば、予算審議等がよりスムーズに行えたのでは無いかと考えます。

☆次年度への引き継ぎ依頼☆
①実行委員会の組織の見直し（メンバーや委員会開催日程等）
②早期の開催日時場所の確定（施設・協賛募集が早期に行えるため）
③全国各地への告知徹底（理念や開催目的の周知徹底）
④運営会社選出方法の見直し（多くの会社にコンペさせ、より良い会社を選出する）
⑤スケジュール・予算の厳格化（変動が生じる場合も多いが、その都度の報告）